

平成30年8月22日

長崎県立大学	
担 当	企画広報課企画広報グループ 田川、福元
電 話	0956-47-5856 (直通)
メー ル	kikaku@sun.ac.jp

長崎県立大学公開講座（第2部）の開催について（ご案内）

長崎県立大学では、県民の皆様に学習の機会を提供し、地域における生涯教育の振興に貢献することを目的として、9月15日（土）に公開講座を開催します。

今回は、「数学の未解決問題で楽しみましょう」、「明るい暗号のお話～プライバシーの時代～」と題し、本学教員による講座を行います。

講座は、佐世保校・シーボルト校の両キャンパスをインターネット回線で結んで実施いたします。

詳細については、別紙チラシに掲載しておりますのでご参照ください。

記

【長崎県立大学公開講座（第2部）】

開 催 日：平成30年9月15日（土）

講座内容：13:30～14:30 永野 哲也（情報システム学部情報セキュリティ学科 教授）
「数学の未解決問題で楽しみましょう」

14:40～15:40 穴田 啓晃（情報システム学部情報セキュリティ学科 教授）
「明るい暗号のお話～プライバシーの時代～」

主 会 場：シーボルト校 中央棟1階 M103 講義室

遠隔会場：佐世保校 新館講義棟1階 504 教室

対 象 者：どなたでも参加できます

受 講 料：無料

申し込み：不要（1講座のみの受講も可能です）

平成30年度
長崎県立大学

第2部

公開講座

9月15日
SAT

情報セキュリティ学科

【主会場】シーボルト校
【遠隔会場】佐世保校



数学の未解決問題で
楽しみましょう

永野 哲也 教授



明るい暗号のお話
～プライバシーの時代～

穴田 啓晃 教授

9月29日
SAT

公共政策学科

【主会場】佐世保校
【遠隔会場】シーボルト校・新上五島町



歩いて見つけた地域の宝

西村 千尋 教授



これからの地方自治
～ガバメントからガバナンスへ～

黒木 誉之 准教授

9月22日
SAT

看護学科

【主会場】シーボルト校
【遠隔会場】佐世保校



生と死について考える

～身内・友人の看取り、
自己の病氣を通して考える～

中村 鈴子 特任教授



精神疾患を抱えながら子育てを
している人への子育て支援
～訪問看護師への調査を通じた検討～

堂下 陽子 講師

10月13日
SAT

実践経済学科

【主会場】佐世保校
【遠隔会場】シーボルト校



ダーウィンはどうして
マルサス人口論を読んだのか

柳田 芳伸 教授



忘れられた近代長崎の偉人
移享二(すぎこうじ)

菅 宜紀 教授

参加無料／申込不要

どなたでも参加できます

土曜日開催

13:30～15:40

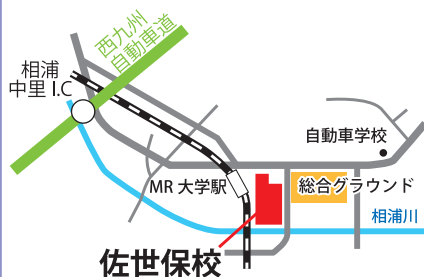
(1講座60分 前半 13:30～14:30
後半 14:40～15:40)

※この公開講座は、ながさき県民大学の連携講座となっております。

会場
案内

佐世保校

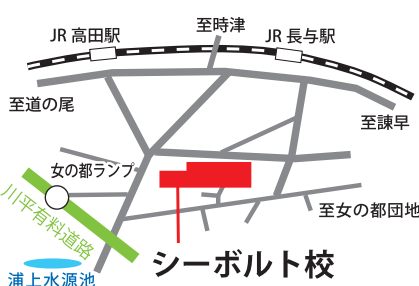
新館講義棟1階504教室
佐世保市川下町123



無料
駐車場
あり

シーボルト校

中央棟1階M103講義室
西彼杵郡長与町まなび野1-1-1



新上五島町

鯨賓館活動支援室
南松浦郡新上五島町有川郷578-36

遠隔会場には主会場からテレビ授業
システムにより映像を配信します。

本学の様々な情報は
WEBでご覧いただけます。

ホームページ

Facebook



お問合せ



佐世保校 <企画広報課> TEL 0956-47-5856

シーボルト校 <総務企画課> TEL 095-813-5500

【主催】長崎県立大学

【後援】長崎県教育委員会、佐世保市、長与町、新上五島町

情報セキュリティ
学科

9/15

土曜日

【主会場】
シーボルト校

【遠隔会場】
佐世保校



数学の未解決問題で 楽しみましょう

講師 永野 哲也教授 時間 13:30～14:30

近年、数学史に残る未解決問題の解決が報告されています。講演では古代からの未解決問題（現在では解決済み）、最近解決された問題、そして未だに解けていない問題を紹介します。人々がどのようにして解を導いたのか、具体的な解の形などを逸話を交えながらお話しします。



明るい暗号のお話 ～プライバシーの時代～

講師 穴田 啓晃教授 時間 14:40～15:40

戦争の歴史と共に発達した暗号技術は、インターネットとスマートフォンの普及と共に私たちの生活の明るい立役者となりました。本講座ではその発達を追い、1970年代の公開鍵暗号の発明で転換した状況を見ます。更に、若者たちの間で SNS が急速に浸透し問題となっているプライバシーの面に焦点を当て、明るい暗号に何が出来るかの見通しをお話しします。

看護学科

9/22

土曜日

【主会場】
シーボルト校

【遠隔会場】
佐世保校



生と死について考える

～身内・友人の看取り、自己の病気を通して考える～

講師 中村 鈴子特任教授 時間 13:30～14:30

近年、新聞やテレビ等で人生の最後の後始末（終活）、エンディングノート等が取り上げられ、人間の死について考える機会が多くなりました。一方でガンで亡くなる方々が増加し、ターミナルケア（終末期看護）、緩和ケア等と多くの医療用語が使用されるようになりました。緩和ケアとは、自己の経験を通して看取ること、自己の病気体験を通して「生と死」について考えたこと、医療者に望むことについてお話しします。



精神疾患を抱えながら子育てを している人への子育て支援

～訪問看護師への調査を通した検討～

講師 堂下 陽子講師 時間 14:40～15:40

2011年厚生労働省は精神疾患を政策上重要な5大疾患の1つとして位置づけ、医療計画の中で重点的に取り組まれることになりました。また医療機関にかかっている精神疾患患者数は約390万人と5大疾患の中で最も多く、私達に身近な疾患です。本講座ではそのような身近な疾患を抱えながら子育てをしている人の子育て支援について訪問看護の視点からお伝えします。

公共政策学科

9/29

土曜日

【主会場】
佐世保校

【遠隔会場】
シーボルト校
新上五島町



歩いて見つけた地域の宝

講師 西村 千尋教授 時間 13:30～14:30

たまにはゆっくり歩いてみましょう。気づかなかった地域の宝が見えてくるかもしれません。自然、歴史、文化などいろいろありますが、何よりも大切な宝は、そこに住むみなさんの生き生きとした姿ではないでしょうか。長崎県内での取り組みに加え、故郷である鹿児島県の奄美群島でのチャレンジも紹介します。



これからの地方自治

～ガバメントからガバナンスへ～

講師 黒木 誉之准教授 時間 14:40～15:40

地方自治という言葉聞いたとき、その主体としてまず思い浮かぶのは市町村等の自治体でしょう。しかし、社会の変容とともにボランティア、NPOなどの活躍が目立っています。そこで、これからのポスト成長時代における地方自治の在り方について、「自治」「ガバナンス」「ソーシャル・キャピタル」等をキーワードにお話しします。

実践経済学科

10/13

土曜日

【主会場】
佐世保校

【遠隔会場】
シーボルト校



ダーウィンはどうして マルサス人口論を読んだのか

講師 柳田 芳伸教授 時間 13:30～14:30

ダーウィンは『自叙伝』の中で、「1838年10月、私はたまたま、ただ楽しみのためにマルサスの『人口論』を読んだ」と記している。これは本当だったであろうか。本講演では、ダーウィンの前半生を辿りながらその真偽のほどに迫っていきたい。



忘れられた近代長崎の偉人 杉亨二(すぎこうじ)

講師 菅 宜紀教授 時間 14:40～15:40

幕末長崎に生まれた杉亨二は、緒方洪庵の適塾で蘭学を学び、明治維新後は太政官正院初代表政課長などを務め、初めて公式統計書を刊行し、山梨県で近代的人口調査を実施するなど政府統計の発展に寄与し、多くの弟子も育てて明治時代日本統計学の開祖とされています。彼の業績の一端をたどります。